

## 職員による自己評価

### A環境面

- ・利用定員が活動スペースとの関係で適切である
- ・職員配置数は適切である
- ・事業所が2Fにありエレベーターもない為、バリアフリーとは言い難い。事業所内はなるべく極力導線が広がるよう、棚等の配置を配慮している。

### B児童への支援内容

- ・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズを課題に客観的に分析し、支援計画を作成している。
- ・活動プログラムをチームで考え、固定化しないように工夫して活動が来ている。
- ・平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定はしているが、平日は下校時間との兼ね合いで、なかなか課題をこなさきれていない日もある。

### C関係機関との連携

- ・学校との情報共有や連絡調整など適切に行う事が来ている。
- ・就業前に利用していた保育園や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有はまだ来ていないことが多い。
- ・学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの情報共有と相互理解に務めている。
- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会は、近隣の公園で活動したり、町内会のイベントに参加させて頂き、設けている。

### D保護者への説明責任・信頼関係

- ・運営規定・支援内容・利用者負担等について適切な説明を行っている。
- ・保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っている。
- ・父母の会の活動支援や保護者会等の開催は来っていない。
- ・子どもや保護者からの苦情について迅速かつ丁寧に対応できている。
- ・定期的にホームページや会報等で、活動概要や行事予定など子供や保護者に対して発信出来ている。

## 保護者による評価

### A環境面

- ・活動スペースに関しては、半数以上が十分との事だったが、走り回ったら危ないかもという意見や、活動拠点が狭い分外の活動を多くしている点は良いとの意見があった。
- ・職員の配置数や専門性は適正である。
- ・バリアフリー化の配慮については、どちらとも言えないという意見が最も多く、建物が古い為仕方がないのかな、ビルの階段が急との声があった。

### B児童への支援内容

- ・子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、支援計画が作成されている。
- ・活動プログラムが固定化しないように工夫されている。
- ・障がいのない子どもとの交流や活動する機会があるかについては、どちらとも言えないが最も多く、今後あれば良いなどの声があった。

### C事業所からの情報発信

- ・支援の内容、利用者負担等については丁寧な説明がされている。
- ・子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解が来ている。
- ・保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われている。
- ・父母の会の活動支援や保護者会等の開催は来っていない。
- ・子どもや保護者からの苦情について迅速かつ丁寧に対応できているという意見と、まだそういう場面がないとの意見が半数ずつあった。
- ・定期的にホームページや会報等で、活動概要や行事予定など子供や保護者に対して発信出来ている。
- ・個人情報に十分注意が来ている。

### D非常対応

- ・緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているかは半数以上が出来ていると回答。
- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の訓練が行われているかとの問いには半数以上が出来ていると回答。

### E 非常対応

- ・緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているかは半数以上が出来ていると回答。
- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の訓練が行われている。
- 虐待を防止する為、職員の研修会を確保する等適切な対応をしている。
- ・やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載している。
- ・ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。

### 事業所内での分析

#### 【共通点】

- ・職員配置数は適切である
- ・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、支援が出来ている。
- ・活動プログラムが固定化しないように工夫されている。
- ・運営規定・支援内容・利用者負担等について適切な説明を行っている。
- ・定期的にホームページや会報等で、活動概要や行事予定など子供や保護者に対して発信出来ている。
- ・保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っている。

#### 【相違点】

- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか
- ・緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか
- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の訓練が行われているか

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・子どもと保護者のニーズが客観的に分析され、支援が出来ている。
- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解が出来ており、保護者が育児に対しての相談等もしやすい関係性が築けている。
- ・町内会からイベントごとにお声を掛けて頂いており、地域のイベントに参加する機会を頂いている。
- ・活動プログラムが固定化しないように工夫が出来ていて、子ども達も通所を楽しみにしてくれている。

### 事業所の改善点

- ・放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会は設けているものの、町内会のイベント参加がメインで回数が少ない。
- ・父母会の活動を支援したり、保護者会等の開催が出来ていない。
- ・各種マニュアルや、定期的に避難・救出・その他の訓練の実施に対して、周知不足。
- ・就業前に利用していた保育園や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有。

### 事業所の改善への取り組み

- ・保護者会の開催、放課後児童クラブや児童館や障がいのない子どもとの交流等、年間計画を立てて実施する。
- ・緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているが、周知が不足している為、再度共有と定期的に保護者との確認の機会を設ける。
- ・就業前に利用していた保育園や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有は、保護者に確認の上、積極的に行う。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

自己評価を通して、支援に関しては子どもたちも通所を楽しみにしてくれており、満足して頂いているようでしたが、各種マニュアルの周知など、取り組みがしっかりとお伝えしきれていない点も多くありました。日々改善が出来るよう、職員一同努めて参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

事業所名 : ライズ児童デイサービス鶴見矢向

担当者 : 浜沢 敬子